Ⅳ　圏域と持続可能な開発目標（SDGs）

「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals,SDGs【エス・ディー・ジーズ】）」は、2015 年９月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された、2030 年に向けた国際目標です。持続可能でより良い世界を実現するための 17 のゴール（目標）と 169 のターゲット（取組・手段）から構成され、地球上の「誰一人として取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。SDGs は発展途上国のみならず、先進国も含めた全ての主体が取り組む普遍的なものであり、日本においても積極的に取り組んでいます。

出典：国際連合広報センター

さっぽろ連携中枢都市圏は、『「住みたくなる」「投資したくなる」、「選ばれる」さっぽろ圏域』という将来像を実現するため、６つの重点施策を掲げ、連携協約に基づき推進する具体的取組を行っています。これらを持続可能な開発という観点からも捉え、SDGｓの 17 のゴール（目標）と結びつけることで、より効果的な将来像の実現を目指し、人口減少・少子高齢社会にあっても、持続可能な圏域づくりを積極的に行っていきます。

また、このような圏域づくりのためには、圏域内の企業や大学はもちろん、圏域外も含め、多様な主体と連携することが重要です。

そこで、さっぽろ連携中枢都市圏は、連携市町村のみならず、あらゆる主体と手を取り合い、SDGｓの視点も踏まえながら、将来像の実現に向けた取組を推進していきます。